

秋田県・宮城県において県・県警等と 高齢者事故防止チラシを作成

～交通事故多発ワースト1位の交差点において街頭啓発活動も実施～

日本損害保険協会東北支部(委員長：原 直人・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 常務執行役員・東北地域担当)は、秋田県・宮城県において、県および県警等と連携して高齢者事故防止チラシを作成するとともに、両県の交通事故多発ワースト1位の交差点において街頭啓発活動を行いました。

秋田県と宮城県の両県では、県および県警等と事故防止にかかる協定を締結しており、毎年、高齢者を中心とした事故防止の取り組みを連携して行っています。

今年度は、秋田県において54,000部、宮城県において57,000部の啓発チラシを作成し、各警察署における高齢者宅訪問や、自治体での出前講座、損保契約者への情報提供などにおいて活用することとしています。

また、当該啓発チラシを用い、両県の交通事故多発ワースト1位の交差点において、街頭啓発活動も行っています。

秋田県では、12月12日(火)に戸蔭交差点(大仙市)において、警察官から交差点で停止中のドライバーに直接啓発チラシを手渡したり、交差点前でプラカードを掲げたりするなどして注意喚起を行いました。

宮城県では、12月20日(水)に鹿又交差点(仙台市太白区)において、東北地方整備局仙台河川国道事務所や交通安全協会などの関係者も加わり、総勢40名で、事故が多くなる夕暮れ時の時間帯に、ドライバーや自転車運転者、歩行者に対し注意喚起を行いました。

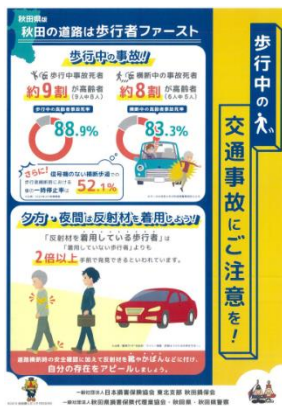
当支部では引き続き、関係機関と連携し、事故防止・軽減に向けた取り組みを推進していきます。



戸蔭交差点での活動の様子



鹿又交差点での活動の様子



秋田県版チラシ
(左:表面、右:裏面)



宮城県版チラシ
(左:表面、右:裏面)



チラシの PDF は以下からご覧いただけます。

秋田県

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2023/pdf/202401_chirashi_akita.pdf

宮城県

https://www.sonpo.or.jp/news/branch/tohoku/2023/pdf/202401_chirashi_miyagi.pdf